

令和6年度 秋田県立角館高等学校 CAN-DO形式での学習到達目標リスト



<高校卒業時の学習到達目標>社会課題に対し、発生原因から問いを立て、その解決に向け計画を立案し行動できる人間になる。

- ・第3学年の学習到達目標: 身近な課題や時事問題について、解決のメカニズムを示しながら説得的な表現ができる。
- ・第2学年の学習到達目標: 論理的構成で立論ができると同時に、スピーチの要点を聞き取り反駁と質問をすることができる。
- ・第1学年の学習到達目標: 身につけた表現を用いて、「結論→根拠→例えば→締め」の型に従って自分の意思を表明できる。

	聞くこと (Listening)	読むこと(Reading)	話すこと・やりとり (Speaking)	話すこと・発表(Speaking)	書くこと (Writing)
		ディベート	ディベート	ディベート	ディベート
3 年		英文の要旨を捉え、批判的思考力を 元に、自分に必要な情報のリテラシー を身に付けることができる。	具体的で深い思考が可能となり、結論から会話を始め、論理的なスピーチを行うことができる。	ストーリー性があり、相手に行動を促すスピーチができる。	自分の思考軸を持ち、事実に基づい た説得的な英文を書くことができる。 アイディアも独創的である。
	ことなく、概ね話を理解することができる。	□ 話題が身近でなくても、知らない単語の意味を文脈から推定し、文の意味を理解することができる。			□ 話題について、重要性や利益、問題点や深刻性といった観点からエッセイを書くことができる。(25分で120語以上)
	□ 標準的なスピードであっても、身近なト ピックについての比較的長い話を理解すること ができる。		□ 相手の意見に対して反論を行い、自分たち の意見の強みを説明することができる。	□ 意見を述べながら理由や例を伝えることができる。スピーチ後に出される質問にも答えることができる。	
	□ 標準的なスピードで話されても、聞き直しながら内容を理解し、次に何が起こるかある程度推測することができる。		□ 時事的なトピックについて1分程度、理由 と具体例を述べながら伝えることができる。	□ メモをとりながら、グループや自分で調べたことを集約し順序立てて、英語で発表することができる。	
2 年		ディベート 英文を読み、著者の主張と根拠、具 体例を読み取り、要約しながら批判的 思考ができる。	ディベート 「結論→根拠→例えば」の構成に、 重要性や問題点の視点を入れ話すこと ができる。	ディベート より説得的なスピーチができるよう になる。問題発生の過程や事象がもた らす利益を述べることができる。	ディベート 文法ミスはあっても、アイディアを 加えた論理的構成で25分100語以上の 英文を書くことができる。
	□ 相手からはっきりと直接自分に向けられた 話であれば、馴染みのない内容であっても概ね 内容を聞き取ることができる。		□ 他者の意見を聞いて要点をまとめたり自分たちで話し合った内容に補足等を加えることができる。 (1'00"~1'20"程度)		や意見などをある程度正確な英文で書くことが
		□ 自分が知っていることであれば、インターネットなどの中から特定の情報を見つけることができる。	□ 相手の意見に対して反論ができる。その理由についても簡単に述べることができる。 (0'40"~1'00"程度)		□ 教科書に関連するトピックについて、自分の表現を交えながら論理的な文章を書くことができる。(10分で60語程度)
	□ 明確で簡単なEメールや広告、アナウンスなどの要点を聞き取ることができる。	□ 興味関心のある分野に関して語句を理解 し、概要を把握することができる。	□ リンクマップに沿って、自分の意見とその 理由を述べることができる。 (0'30~0'40"程 度)		□ 複雑な内容でなければ、手持ちの語彙や表現から言いたいことを論理的に書くことができる。(8分で50語程度)
1年	ディベート 型に従って話されるスピーチを聞き、主張と 根拠、具体例を簡潔に聞き取ることができる。		ディベート 型に従って、メモを見ながら根拠と具体例を 相手に伝わるように話すことができる。	ディベート メモを見ながら、型に従ってスピーチでき る。根拠と具体例を述べ、さらに問題点や重要 性にも言及できる。	ディベート 多少の文法ミスはあっても、結論→根拠→例 えばの構成で25分80語以上の英文を書くことが できる。
	□ 家族や趣味など限られた内容であれば、話 し手の伝えたいことを概ね理解することができ る。	□ 黙読と同時に、英文の主語と動詞を把握 し、かたまりで文意をとらえることができる。		□ なじみの事柄であれば原稿を見ながら気持ちを込め発表することができる。 (0'40~1'00"程度)	□ トピックについて、辞書や端末を用いて情報を選択しながら論理的な文を書くことができる。(12分で60語程度)
		□ 既習済みの英文であれば音読しながら、英語の語順で内容をつかむことができる。	□ リンクマップと原稿を見ながら、簡単なトピックについて意見を述べることができる。 (0'30"~0'40"程度)		□ テーマに沿ってブレストを行い理由や具体 例を明確にし意見を書くことができる。(10分 で50語程度)
	□ 日常的に使われるあいさつや呼びかけな ど、短い社交的な会話を聞き取り理解すること ができる。		□ 挨拶や好きなものなど基礎的な内容であれば会話を交わすことができる。 (0'20"~0'30" 程度)		□ 決められた英文枠があれば、テーマに沿って自分の意見を明確にし書くことができる。(8分で40語程度)